

みんなで支える地域の輪

第114号 2026年 1月5日号

小金地区社協だより

小金地区社会福祉協議会 編集・発行
松戸市小金きよしヶ丘 3-1-1 (小金市民センター内)
TEL 047-343-8690/FAX 047-710-3141

主な内容
1面 新年を迎えて
2面 第19回ふれあい広場
3面 福祉懇談会(障がい者)
4面 結婚50周年祝賀会 かるがもイベント
ふれあい会食会 あじさいサロン
紅葉を観る会 街カフェ「絆」
男性料理教室 小金わくわく農園
事務局からこんにちは 編集後記

写真で見る活動



かるがもクリスマスイベント(写真上2枚とも・関連記事3面)「街カフェ絆」は9月から古民家を修繕した「集い処・絆」で新出発(写真下2枚とも・関連記事4面)

雨模様の「ふれあい広場」でも多くの入場者。(写真上・関連記事2面)、東漸寺での「紅葉を観る会」ではご住職のお話も(写真中)東漸寺(写真下左)と本土寺(写真下右)の鮮やかに色づいた紅葉(関連記事4面)

新年を迎えて



小金地区社会福祉協議会
会長 小野 順子

「新たな年を迎える」という改まった思いが、だいぶ薄れてきた感があります。インターネットの普及、デジタル化の加速もあるのでしょう。便利になった反面、さらに多くのことを求められ、追われるような毎日になってはいませんか？
人々の暮らしは豊かになっているのだからかといぶかしささえ思えてきます。
少子高齢化に歯止めはかからず、労働力不足、物価高騰等、高齢になっても働き続ける社会になりつつあります。ボランティアの高齢化は以前から課題として挙げてきていましたが、解決する術は見つかりません。社会全体が経済最優先になっているように見えますが、経済的に裕福であれば人は幸せになれるかというと、それほどではありません。
少し周りを見渡してみてもいいです。ボランティア活動をしている人たちの生き生きとした姿、豊かな表情。そこには直向(ひたむき)な美しさがあります。おそらくはお金では買えない宝を懐深く蓄えているからだと思います。
できるだけ多くの人が、この宝ものを持てるようになりますよう。

古刹で「紅葉を観る会」

「ふれあい会食会グループ」

東漸寺…12月1日(月)「紅葉を観る会」がおこなわれました。参加者はボランティアを含め37名。ご住職の鈴木悦朗様からのお話の後、お茶とお菓子がふるまわれました。また、ご住職のご好意で徳川家康公肖像を拝見後、境内を散策しながら見頃となった紅葉を楽しみました。(鈴木)



執事長のお話を聞く

男性料理教室

～アンケートでの希望は中華～

11月18日(火)は7名が参加。掲示板を見て初参加した方もいれば、10年前から参加している方まで多彩なメンバーが揃いました。メニューはアンケートで要望が多かった中華。麻婆茄子は安定の美味しさで、冷凍の揚げ茄子を使うのがポイント。エビとレンコンの春巻きは2つの具材の食感の違いが味をより際立たせていました。冷めても美味しいので、お弁当にも適しているとのこと。小松菜の納豆和えは、しらすを加えた3つの具材が調味料とマッチし、作り方も簡単。中華ということもあり、調味料が多く忙しそうではありましたが、皆さんとても手際よく作り、美味しくいただきました。さっそく次の日付をメモしている方もいました。(西本)



メモを片手に調味料をはかる

街カフェ「絆」

新たな会場は「集い処・絆」

9月28日(日)、新たな会場となった「集い処・絆」に29名が集まりました。以前の会場の横の古民家を手直した会場に、社協から椅子とテーブルとカーペットが届き、8畳と6畳の間の襖を取り除きひと部屋に。初めての披露目なので、イベントなしで開催。

10月19日(日)新会場「集い処・絆」で初めてのイベント、紫雲菊助さんと柏屋子女さんによる落語寄席です。参加者は総勢19名。テーブルに毛氈を引いた高座に登ると、天井に頭が付きそうで参加者との距離も近く、どうなるかとハラハラしました。が、「反応がすごくわかって演りやすかった!」とのこと。

11月23日(日)「アコギを楽しむ会」の2名によるアコースティックギターの演奏。近距離での生声、生ギターが参加者の心にしみり届きます。「ドナドナ」から始まり、「四季の歌」などを皆で歌い、学生の頃を思い出しました。(安達)

今年も実りの秋の収穫祭

小金わくわく農園

10月12日(日)芋掘りと落花生の収穫と大根の間引き。泥だらけになりながらの作業でしたが、今年のさつま芋は大豊作だけでなく、姿形もかなりの美人さんでした。

11月3日(月・祝)は先月収穫したさつま芋の焼き芋大会。会場は例年通り、殿平賀小学校の体育館で、焼きあがるまでの間、地元の人気者、大道芸人「KAY A」さんのパフォーマンスで、大人も子どもも大喜び。終了後は、あつあつの焼き芋を会場内で食べる人、持ち帰る人、皆笑顔でした。参加者はスタッフ、ボランティアを含め総勢148名。



最後の集いは「ポトフ」で!

◆小金町会・自治会名

小金上町町会 小金本町町会 小金八坂町町会 小金宮元町町会 小金中町町会 小金下町町会 小金上総町町会 小金清志町町会 ニツ木第一町会 ニツ木第二町会 大谷口町会 大谷口北自治会 大谷口南町会 大金平一丁目町会 大金平二丁目町会 大金平三丁目町会 大金平四丁目町会 大金平五丁目町会 中金杉自治会 幸田自治会 富多葉自治会 平賀町会 殿平賀町会 殿平賀南町会 東平賀町会 東平賀北町会 東平賀城町町会 きよしヶ丘町会 シャンポール町会 久保平賀町会 根本内城山自治会 北小金ハイツ管理組合自治会 オーベル新松戸管理組合 ラミュー松戸ハイライズ自治会 きよしヶ丘サンビュハイツ自治会

編集後記

昨年7月から広報事業部に参加し、ボランティアの方々さまがさまざまな行事に対して、本当に温かく取り組んでいらつしやる姿に驚きました。自分も微力ながらボランティア活動に参加していければと考えています。(鈴木)

広報事業部長 稲葉眞理
・岩本慎一・安達純子・吉田勝俊
・西本明子・鈴木文夫

☎(343) 8690



事務局からこんにちは
「使用済みの切手等のご寄付」

第19回ふれあい広場

参加者の熱意で雨模様も退散！

☆全体

10月26日(日) 小金小学校の体育館と校庭の2会場で開催しました。前日からの雨も昼前にはかなり回復し、1日中、多くの入場者が両会場のイベントや屋台村などを楽しんでいた。

☆第1会場(体育館)

小野会長の「来場者に楽しんでいただくのはもちろん、小金地区社協の各グループ間の交流も」との挨拶からスタート。北小金グレースこども園の園児の可愛い合唱、アンパンマン体操では保護者も一緒に歌を口ずさみながら手足を動かしていました。



北小金グレースこども園の合唱

小金北中学校吹奏楽部は、「おじや魔女のカーニバル」から「宝島」まで8曲を演奏。午後の小金南中学校吹奏楽部の演奏ではアンコールで「銀河鉄道999」を演奏。両中学校とも演奏途中のパフォーマンスが素晴らしく、満席の観客からため息がもれていました。

「健康推進委員」による健康チェックや放課後児童クラブ、親子DE広場などのブースも盛況で、親子で楽しんでいました。



親子で工作を楽しむ

☆第2会場(校庭)

校庭では、各ブースでのイベントや屋台村での焼きそばやお赤飯、和菓子などを購入する人の列が。防災コーナ―では新聞紙の活用、子ども遊び場では、子どもたちが大きな声で射的や金魚すくいなどの遊びをアピール。遊びを勧める子と参加する子のコミュニケーションの場になりました。

ふれあい広場初参加の二ツ木第2長寿会のコーナ―では、手作りの布製小物グッズが販売されたり、同じく手製の美しい吊し飾りが目を引いていました。また、小金わかば苑では、利用者さんが布用絵の具でペイントしたカラフルなヘアゴムやステッカーなど、第2いぶきの広場では毎年好評の布巾などが並べられ、楽しく活動している様子が想像できました。また、飲食のコーナ―は時間に関係なく人気で「〇〇が美味しい」などの声がそここで聞かれました。

昨年に続き、小金南中学校の生徒がボランティアとして参加し、大きな声でお客さん呼び込んだり、丁寧に商品を渡したりする微笑ましい姿が見られました。(広報事業部一同)



二ツ木第2長寿会の吊し飾り(写真上)、中学生のボランティアが大活躍(写真下)



校庭でのパルーンアート

『福祉懇談会』・障がい者

障がい者を取り巻く現状と課題

情報交換事業部

※松戸市教育委員会・学習指導課・教育担当室…0歳から18歳までの発達支援につながる対応を検討中。障がいではないが発達に問題があるお子さんは増え、相談件数も増加中。

※松戸市役所・福祉長寿部・障害福祉課…業務は福祉全般。共存社会に向けた意識変革を目指し、企業への説明や市民向けの出前講座を開催。

※高齢者いきいき安心センター…施設長…障害手帳のあるなしにかかわらず、意思疎通を図る際に難しさを感じています。

※小金南中学校・校長…特別支援学級がなく、通常級に在籍。学習指導の方法、コミュニケーションの点で課題があります。

※小金北中学校・校長…通常級のほか、情緒学級が2クラス。学校だけでは支援は難しく、外部機関と連携を図りながら進めています。

※殿平賀小学校・校長…知的障害クラスが1クラス。情緒学級が2クラス。児童の様子を見ながら家庭と相談し、進めています。

※小金基幹相談支援センター・センター長…メディアで児童発達障がいを取り上げられるようになり、早めの療育を望む保護者が増えています。

※第2いぶきの広場・所長…コロナ禍以降の人手不足などで居宅サービスを廃止しました。グループホーム建設は資金面の問題もあり難航中です。

※小金わかば苑・施設長…利用者とその家族両方の高齢化が課題です。また利用時間が学校通学のときより短くなり、保護者の仕事に影響を及ぼしています。

※合同会社かぶちゃんず・代表…アパートタイプのグループホームを運営しています。日頃スタッフが1名体制のため、急な対応に苦慮しています。

※松戸市社会福祉協議会・ボランティアセンター長…施設の利用者への工賃を上げられない現状があり、工夫している点にも障がい児向けのイベントを企画しています。

※小金地区社協・小野会長…障がい者と健常者の区別は難しいところがあり、皆が暮らしやすい社会を作るために助け合いが必要。また障がい者への対応は多様で、常に感受性を高めておく必要があると感じました。

ふれあい会食会

10月からは毎月開催 会食会グループ

10月9日(木) 城町会館にて東平賀城町会、根本内城山自治会、東平賀町のふれあい会食会を開催。参加者は、(ボランティアを含む)48名。座るやいなやおしゃべりの花を咲かせ、折り紙作品を配ったりする方も。小野会長は「皆さん、機会を見つけてぜひ外に出てください。散歩ついでに、ふれあい広場にも来てください」と挨拶。美味しいお弁当での会食。そしてその後の余興は、友愛サウンズ8名による「人生色々」など6曲が演奏。明るいトークに笑顔があふれ、参加者全員、お土産とふれあいを持って帰られました。(安達)

11月21日(金) 小金清志町会館で開催。小春日和の中、参加者は全員で38名。嶋根副会長、小金清志町会長の挨拶では、防災のお話。「火の元に気を付けて、この辺は住宅も密集しているし、北風も吹き抜けます。避難経路も再度確認ください。自分の身を守るように」。

12月11日(木) 平賀、殿平賀、東平賀、東平賀北、殿平賀南町会のふれあい会食会が本土寺・開山堂で開催。参加者は全員で42名。食後は各テーブルでの会話が弾みました。余興は友愛サウンズ9名による演奏に合わせての合唱。「人生いろいろ」から始まり、歌詞にあった言葉のつながりで3曲を合唱。最後の「幸せなら手を叩こう」では速度を早めて何回も繰り返して歌って、皆、大爆笑でした。(稲葉)



小金清志町会館での会食会

ハロウィンやクリスマスなど

子育て支援かるがも

10月14日(火) 小金市民センターで、10月15日(水) 小金北市民センターでハロウィンのイベント。14日は6組13名、15日は10組20名の親子が参加。支援グループのメンバーの指導で、ビニール袋を利用したかぼちゃ(パンキン)のパunchボールを作りました。(吉田)



パンキンパンチボール作り

11月5日(水) は小金北市民センターで、11日(火) は小金市民センターで、「たんぽぽ文庫」の2名による絵本や大型絵本などの読み聞かせ。「たんぽぽ文庫」は、初めての招待でしたが「はじまるよ」のテンポの良い手遊びから、参加者も引きつけられ、楽しく聞き入っていました。(安達)

12月9日(火) 小金市民センターで子ども11名、大人9名の20名が参加しクリスマスイベント。17日(水) は小金北市民センターでも参加者23名で開催されました。お母さんたちは、用意された色とりどりのブーツに綿やボンボン、マスキングテープやモールなどを使って、楽しみながら作っていました。手遊びや絵本も元気いっぱい、子どもたちのパワーをもらいました。(安達)



クリスマスブーツを作る

結婚50周年祝賀会

南・北の両地区で開催

11月13日(木) 小金市民センター、14日(金) 小金北市民センターにて結婚50周年祝賀会を開催し、計24組のご夫妻が参加されました。式典前の写真撮影では照れ笑いするご夫妻や、2人で写真を撮ることなど減多にないとおっしゃる方も。

式典では当地区社協の小野会長から「誠におめでとございませう。これからも1日1日を大切に、おふたりの幸せな時を重ねていただければと思います」とかけがえのない結婚50周年を祝福。松戸隆政市長や松戸市社協の小川早苗会長の祝辞の後、余興として若生一葉さんの日舞・新舞踊と葵亭蕎麦助さんの落語。落語は「ぐつぐつ」という創作落語で、鍋の中のおでんの具たちのやりとりを軽妙に話す蕎麦助さんの話術を楽しみました。

お祝いの品とお弁当をお持ち帰りいただき、記念写真は後日お送りしました。参加された方から丁寧なお礼のお手紙もいただきました。(稲葉、鈴木)



挨拶中の小野会長



余興の日本舞踊を鑑賞

手品と来年の干支作り

～あじさいサロングループ～

11月6日(木) 小金市民センターで「手品を楽しもう」を開催。演じるのは我孫子市在住の塩畑さん。カードマジックを主体に多彩な手品を披露。4つの演目では観客の方々も参加して、和気あいあいの楽しい時間に。空き箱からいろいろなものを取り出す手品では、最後の「おしまい」のパネルに拍手喝采でした。参加者は34名(男性3名)スタッフ8名。(吉田)



さまざまなマジックに皆、拍手喝采！

12月16日(火) の小金北市民センターはスタッフ含め28名が参加。来年の干支の馬の親子の貼り絵作り。台紙に合わせて折り紙を切り、ヒゾメやタテガミ、尻尾などのパーツを糊で貼り付けます。皆、真剣な顔で取り組み、予定時間より少しオーバーしましたが、できあがった作品には、皆、満足のような様子でした。(鈴木)